

ふじトピア



「田中城跡」

画 塚本司雄 様

田中城跡（田中1.2）

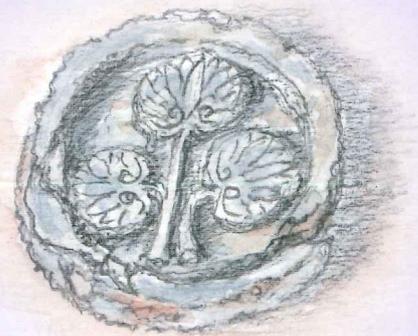
この城は東海道の近くしかも水路で海に通じていて、重要な軍事上の位置にあるためその支配をめぐる、今川、武田、徳川の攻防戦を繰り返してきた城である。

円形の城は全国的に珍しく、別名「亀甲城」「亀城」とも呼ばれ城址は市指定史跡である。

現在でも、二の堀三の堀の一部、貴重な本丸櫓、三ヶ月堀跡、土塁跡、下屋敷などがあり、日知館や武家屋敷などのあった場所に多くの標柱が建っている。

城の始まりは、室町時代に土豪の一色信茂が今川の命を受けて居城を拡大したのが「徳一色城」である。

桶狭間の戦いで今川義元が命を落としてから今川領国の勢力が衰退してきたところを、元亀元年（1570）に武田信玄が侵攻してきてこの城を手に入れ、信玄は難攻不落の城とするため武田式の堅固な城に造りかえ、名を「田中城」にした。



本多家家紋瓦

理事長の散歩道

おおとりかい 社会福祉法人鳳会 理事長 増田 完彦 よすた よしのこ



世の中が自粛モードに覆われる事なく、新元号が「平成」から「令和」に決まり、新元号の予想をあちらこちらで行われた人は、思い思いに4月1日を受け止められたと思います。元号の向き合い方は、人それぞれである事は言うまでもないです。

平成は30年で幕を閉じましたがこの時代は、経済、生活面ではバブル崩壊で始まり、物やサービスの価値、価格が下がり、長きに渡るデフレに陥り、未完のまま終わったと言えます。

改元で社会の在りようが大きく変わるものではありませんが、社会を作り、歴史を刻んでいくのは、今を生きる一人ひとりです。

地震、豪雨、台風、猛暑等の自然災害が多かった平成という時代は、災害が起これば救助、救援を行う事になり現在、自助、共助の必要性が再確認され、自分の家族や居住地域は、自らがまず、守る体制と責任が改めて求められるものとなりました。自助、共助の実態は、家族が7割、友人隣人、通行人が2割で、公共となる救援隊は1割にも満たないのです。不測の事態の際、直ちに頼りになるのは、家族や知人で在る事が明らかです。更に防災訓練や、地域の隣住民との連携を共助と強化していくのが重要な時代となりました。

一方、我々の経済生活はデフレは横這いながらも、東京オリンピック・パラリンピックが間近に迫り、より手厚い観光事業や貿易、建築需要とそれらに関わる産業は活気を見せ、また日本特有のカルチャーにより、外交に於いては我国の国際的地位は高まってきています。訪日外国人が急激に増加しているのはご存じの通りです。

この状態は外側から見れば賑やかで活気がありますが、しかし、この背景に不安を感じる人も少なくはないよう

です。特に若い海外の方々は一見、豊かで刺激的に見える日本文化を享受しつつ、精神的な人間関係や信頼できる仲間をも求め、それが異文化、宗教等の要因で行き違いになる事もしばしば。これだけ世界が情報過多で多様性に傾いていけば当然ながらも、元来、閉じられた島国として、永い歴史と歩んできた国民性が、保守的な意識を持ってしまふのは仕方のない事かも知れません。これも今後の課題となりえる一つでしょう。

「令和」がスタートし、昭和、平成、令和と人生を歩んできた私自身と言え、不思議と様々な経験や思い出が甦ってくる次第です。一般的に人の「出会い」や「言動」が、後の人生の進め方を左右するのは往々にしてあります。私的の事で恐縮ですが、私が今でも脳裏にある言葉に、高校時代、英語の教鞭をとっていた先生の「君達、当たり前の事を当たり前にするれば当たり前の事ができる」というものがあります。例えば、部活のボール磨きひとつにしろ、地道な事を重ねる事により、ボールへの愛着と共に、手に馴染んできては良いコントロールに繋がるという、発展を含め見越した言葉なのですが、60年経った今でもどこかそれを意識して生きてきた部分があります。

「当たり前」と言うと少し強めのパワーワードにも聞こえますが、この当たり前もまた、人の取りようだと私は考えます。挨拶を頂いたら返すのも当たり前、空を眺め様子から季節を感じるのも当たり前、地面を見て生える草を気にしながらも、何より自分が今生きてそこに在る当たり前という名の感謝、個人が各々抱えている前向きな尺度を大事にしていきたいものです。それは今後、巨大なうねりとなって、裾野に向かって雪崩来る国際化にも対応できる筈です。平成、昭和、それ以前の数多の元号の中に根付く日本の心は、令和に引き継がれながら、柔軟と理解という新しい要素を取り入れ更に発展する事でしょう。



ボランティア紹介

早いものでボランティアを16年させて頂いております。グループホームには開設時より利用者さまと親や姉妹のように接して来ました。話を聞いてあげたり励ましてあげたり一緒に洗濯をたたみ、歌を唄い、あっという間に時間が過ぎます。更に葛狩、掛川花鳥園、下菰田の夏祭などの外出はみなさんの笑顔をいっぱい見られ、嬉しいひと時です。これからも体力のある限り続けていきたいと思っております。

(村野芳子)



村野芳子様(右)

ふじトピア施設内研修より

2019年度

2019年4月25日

リハビリの視点 講師：通所理学療法士 吉村直樹



運動機能障害のある方へ、リハビリの視点からのポジショニングについて学びました。ポジショニングとは、運動機能障害を有する者に、クッションなどを活用して身体各部の相対的な位置関係を設定し、目的に適した姿勢（体位）を安全で快適に保持することをいいます。その目的は、床ずれ（褥瘡）の防止や摂食・嚥下機能、呼吸・循環機能の維持・促進等があげられ、なにより長期臥床の弊害を防止する事にあります。



例えば、仰臥位の場合、各部位への重力の影響には違いがあります。重力が問題解決に働く「プラス要因」となるのか「マイナス要因」となるのか「どちらでもない」のかを知り、立体的なサポートを提供する事や、それぞれの姿勢をとる時間を変える事で重力を有効に使う事を試みる事が重要です。

ポジショニングを導入する際は、まず身体状況、1日の姿勢や介護力の確認をし、本人や介護者へ目的の説明をします。姿勢の崩れや痛み等の確認、時間や頻度、姿勢のバリエーションを観察します。ポジショニングによる変化を評価し検討を繰り返すようにしていきます。

2019年5月23日

①事故防止（介護事故についての事例検討） 講師：特養主任 石田友美



他施設で起きたショートステイ利用時の転倒事故が、裁判となった事例をとりあげてみました。

男性Aさん 両下肢に障害はありますが、判断能力に問題なし。

情報提供から半年が経過。初めての利用時にトイレにて転倒し、頭部打撲、後頭部の痛みと嘔吐の症状があり予定を繰り上げて退所。10日後に再度利用あり。前回の転倒を踏まえ職員はナースコールを押すよう伝えるが、コールする事なく再度居室にて転倒。病院に搬送後、意識は戻らず帰らぬ人となりました。裁判では、Aさんがコールせず1人でトイレに行くこととする可能性について施設は理解していたか否か。転倒して傷害を負う可能性を予見出来たか否か。そうした事を踏まえ離床センサー設置の義務について争われました。

Aさんは、どのような方だったのでしょか？ご利用者それぞれ性格が違います。ご自身で出来るから大丈夫と考えている方、コールする事に遠慮しがちな方もいます。介護者は、特にトイレ介助や入浴時のプライバシーへの配慮をしなければなりません。職員が日頃から家族とコミュニケーションを取り、提供された情報からリスクを想定し、その説明と相談等を行う事が、事故防止や苦情の解決につながるのではないのでしょうか。職員それぞれ、改めて考えてみました。

②標準的ケアサービスの実施

講師：特養主任 松本剛明



「標準的ケア」とは・・・施設が提供するケアサービスにこれだけは欠かせないというラインを示したものの。例えば、嚥下障害のある方への食事の提供については、食べやすく咀嚼しやすい形状を選び、食事の体位に配慮し、食べるスピード・順番等を考え、顔色の変化・むせはないか等の



観察も欠かさないようにしなければなりません。入浴への拒否がみられる方については、その原因がどこにあるのかを探り、誘導方法を検討し、時には代替ケアを用います。介護者は、利用者の訴えを否定するニュアンスの声掛けではなく、まずは聞く（傾聴）という姿勢で、そして介護者間で「ずれ」のないように基本的な対応を統一する事が重要です。利用者の心情を察し思いやる事がとても大切であり、笑顔やジェスチャー等の視覚情報を活用しながら、上手くコミュニケーションとっていくことが、ケアに繋げていく重要なポイントとなる事を再確認しました。

グループホーム

クッキング



皆さん手慣れたものです

特養

カラオケ



美しい歌声がホールに響きわたりました

ふじトピアがあら版

グループホーム

買い物



職員と一緒に食材の買い物に出掛けます

特養

散歩



梅雨のあいまの晴れた日に・・・

デイサービス

父の日



父の日を前に、プレゼントを作りました

デイサービス

ボランティア



涙が出るほど笑いました(てんとう虫様)

職 場 体 験

市立藤枝中学校 5/8～10 (特養)
 市立広幡中学校 5/8～10 (デイサービス)
 市立葉梨中学校 5/15～18 (特養)

それぞれの学校から各3名の生徒さんが、介護の仕事をお手伝いしてくださいました。介護現場の仕事の他に、高齢者の視野はどの程度狭くなりどんな色に見えるのか、また筋力低下や麻痺等による歩行や日常生活の不自由さを疑似体験してもらいました。



市立藤枝中学校



市立広幡中学校



市立葉梨中学校



(新) 健康長寿応援体操が始まります

前回の膝や腰の痛みに焦点をあてた予防体操から、運動機能・口腔機能に着目した体操（10分程度）に進化しました。「きてみてふじトピア」や「カフェふじトピア」でも体操を行っています。詳細は、地域包括支援センターふじトピアまでお問合せください。



心温かな ご支援ありがとうございます。

ご寄付 平成31年3月～令和元年6月

岡島あい子様 見崎富美子様
葉梨仏教婦人会様
藤枝第二地区民生児童委員協議会様

施設見学

平成31年3月14日

男女共同参画推進センターより44名の皆さまが来訪し、特養・デイサービス・グループホームを見学されました。意見交換の席では、活発な質疑応答が交わされました。



意見交換会

令和元年5月14日

藤枝第二地区民生児童委員の皆さまとふじトピアの職員(地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所)との意見交換会が行われました。



顔のみえる関係づくり会議

令和元年6月15日

地域住民が安心して過ごす事が出来る連携の仕組み、専門職間のネットワーク作りを目的とした「在宅医療介護の顔のみえる関係づくり会議」(シンポジウム・意見交換会)を開催しました。



編集後記



5月は、予想外に日中の気温が高くなる日もあり、体調管理に戸惑う陽気でした。そして、もうじき梅雨があげ、また暑い夏がやってきます。そこで心配なのは、やはり熱中症ですね。施設では、夏の熱中症、また冬に流行る感染症の予防対策や発生時の対応など、日頃より職員のスキルアップと意識向上の様々な研修を行い、安心・安全なサービスの提供が出来るように努めています。今年の夏も、みなさん元気に乗り切ってくださいね。(鈴木)

社会福祉法人

おおとり かい

鳳会

〒426-0204 藤枝市時ヶ谷417-2

電話 054-638-5252 FAX 054-638-5255

Email fuji-topia@po2.across.or.jp

ホームページ <https://fujitopia.jp/>

特別養護老人ホームふじトピア ☎ 054-638-5252

ふじトピア短期入所生活介護事業所 ☎ 054-638-5254

ふじトピア障害福祉サービス事業所 ☎ 054-638-5254

ふじトピア通所介護事業所 ☎ 054-638-5257

ふじトピア認知症対応型通所介護事業所 ☎ 054-638-5257

ふじトピア訪問介護事業所 ☎ 054-638-5258

ふじトピア居宅介護支援事業所 ☎ 054-638-5253

藤枝市地域包括支援センターふじトピア ☎ 054-638-5259

グループホームふじトピア ☎ 054-638-5251